



皆さん、こんにちは、

今月、サレジオの宣教師、ドン・ボスコのカリスマを世界中に輝かせる宣教師たちを思い起こす私たちは立ちどまり、小さな者の苦しみに心を向けます。このグローバル化した社会で「廃棄の文化」がますます蔓延し、その影響が破壊的であることに、私たちは容易に気づくでしょう。私たちはキリスト者として、無関心を乗り越え、福音が喜びの良い知らせであり、そこに悲しみの余地はないことをあかしするよう呼ばれています。この夏、私はベネズエラで、「地区barrio」の貧しい人々のほほえみと歓待をととてもありがたく受けました。人々は日々の労苦や貧しい生活を隠すことなく、粗末な住まいに喜んで迎え入れてくれます。苦しみを和らげるには、社会事業に取り組むこと、基本的人権の保証、子ども・若者への教育の提供が確かに必要であることを私は経験しました。さらに大切なのは、立ちどまり、そばにいる人と時間を共にすることです。

私たちは、苦しむ人々に近づき耳を傾けるために、「時間を無駄にする」ことができるでしょうか？ 人々のあらゆる問題を解決しようとする「効率主義」に陥ることなく。

この問いを投げかけながら、皆さんがカリエロ11を楽しんで読まれることを願っています！

Marco Fulgoso

■ サレジオ会宣教部門
信徒メンバー
マルコ・フルガロ, SDB

米国に貧困はある



SFYC (サレジオ家族ユースセンター) はカリフォルニア、ロサンゼルス圏の低所得者層が暮らす地区にあります。私たちが奉仕する子どもたちの多くは米国生まれですが、親はスペイン語圏の国々 — メキシコ、グアテマラ、エルサルバドルなどからの移民です。

ほとんどの子どもたちは**バイリンガル**ですが、子どもたちの話すスペイン語は、たいてい家庭でおぼえるため限られたスペイン語です。一方、親たちは、ただ生きてゆくために二つか三つの重労働の伴う仕事を掛け持ちします。その結果、子どもたちは多くの時間を自分たちだけで過ごすようになります。親は、「自分にはなかったものをこの子たちには与えたい」という思いで、子どもに何不自由ない生活をさせようとしています。このような親の姿勢は、当前と思うある種の権利意識、その他の問題となる態度・行動を子どもたちのうちに芽生えさせます。

明確な姿勢をもった**同伴**や支えを提供するシステムがないとき、多くの子どもは危険や不安の中で暮らすようになり、麻薬や非行集団に簡単に近づくことが、事を複雑にします。実際の例を挙げると、数か月前、14歳の少年が、暮らしている地域のギャングの犯罪に巻き込まれ殺されました。この少年は一時、SFYCに参加していましたが、2年前からプログラムに参加しなくなっていたのです。

教育については、われわれの若者の多くは大学や職業訓練校を志望しません。高校を卒業したり退学したりした後は、家計を助けようと仕事を探します。もう一つ挙げたい点があります。若者たちの大多数が**アイデンティティーの悩み**を抱えています。彼らはラテン・アメリカ人であることと米国市民であることの間の不安定な道を歩んでいるのです。この危機を乗り越えるなら、その若者にとって、また社会にとって、大きな利益になります。なぜならその若者は、この国の二つの主要な文化の中で、何かを生み出し周りに貢献する人生を、幸せに歩んで行けるようになるからです。

私たちは米国西管区SUOにおける重要な拠点の一つです。私たちについてもっと知りたい方は、ウェブサイト www.SalesianClubs-LA.org をどうぞ訪れてください。

■ 米国西管区 宣教促進デレガート (PDMA)

フアン＝カルロス・モンテネグロ

振り返りと 分かち合いのために

- 自分の地域の若者たちの間で最もよく見られるのはどのような貧しさだろうか？
- 苦しむ子ども、若者たちを、私はどのように助けることができるだろうか？



苦しむ人々を助ける ハイチのサレジオ会



Br.リカルドさん、ハイチはよく自然災害に見舞われる貧しい国です。経済支援のほか、地元の人々は何を必要としているのでしょうか？

ハイチは自然災害に関して、カリブ海で最も被害を受けやすい国とされています。2010年から2021年にかけて、ハイチは3つの大きな災害に見舞われています。

- ・2010年1月12日の地震(死者222,570人、370万人が被災)
- ・2016年10月のマテュー・ハリケーン(死者500人、210万人が被災)
- ・2021年8月14日の地震(死者2,300人、70万人以上が被災)

これらの自然災害は、人々、特に最も貧しい人々の置かれている脆弱な状況をさらに悪化させてきました。人々は災害が起こるたびに、総じて人道的緊急事態に置かれます。そのため経済的支援に加え、主に食糧や衛生用品などの援助物資、温かい食事などがすぐに必要です。中・長期的には、人々の心理社会的な側面を支える活動、立ち直る力を養うプログラム、技術訓練プログラム、社会経済的な復興のプログラムなどが必要です。

ハイチのサレジオ会は最も貧しい子ども、若者をどのように助けていますか？

最も貧しい子ども、若者を支援するため、ハイチのサレジオ会はさまざまなレベルで働きかけています。

緊急支援プログラム：サレジオ会は、リナルディ基金のような仕組みを通して、食糧・衛生用品のバックを配布し、温かい食事を配り、若者や子どもの心理的・社会的側面を支える活動を提供しています。

社会経済的復興プログラム：サレジオ会は、経済的な復興を助けるため、種などの農業材料を提供して農家を支援したり、必死に生きる若者に技術訓練プログラムを提供したりしています。

ハイチの若者やサレジオ会の置かれている状況は困難なものです。それでも、生活する中で、奉仕の動きの中で、喜びの瞬間、前向きな瞬間が皆さんにもあるのでしょうか？

本当にそうです。実際、ハイチのサレジオ会は、この困難な時に、子どもや若者たちが希望を回復できるよう働いています。さまざまな活動を行っています：後援制度、教育工学、社会文化的活動(イエス・カーニバル、イエスと走ろう自転車ツアー、演劇、ダンス)、スポーツの試合(サッカー、バレーボール、バスケットボール)、環境への意識の啓発など。若者と子どもたちは根っからのミュージシャンで、お祭りが大好きです。私たちはまた総長によるさまざまな提案を活かし、アニメーターたちが互いのためにパン種となるよう助けています。



リカルド・ベラス修士, SDB

1981年、**ハイチ**生まれ。2002年10月、修練準備期を始め、2004年、サレジオ会**修道士**として誓願を宣立。

ハイチで哲学、教育学を、トリノの**クロチェッタ**で司牧神学を修め、またヴァルドッコで、修道士のための2年間の国際養成課程を受ける。

エクアドル(サレジオ工科大学)で会計学、会計監査を専攻。福者フィリッポ・リナルディ準管区の青少年司牧を担当、2022年7月から**宣教促進**のデレガートを務める。



フォーラム

出生率 (女性1人当たり)
最も高い国 最も低い国
トップ10



(高い)

1. ニジェール | 6.8
2. ソマリア | 6.0
3. マリ | 5.8
4. コンゴ民主共和国 | 5.8
5. チャド | 5.6
6. アンゴラ | 5.4
7. ブルンジ | 5.3
8. ナイジェリア | 5.3
9. ガンビア | 5.2
10. ブルキナファソ | 5.1

(低い)

1. 韓国 | 0.9
2. プエルトリコ | 1.0
3. 香港(中国) | 1.1
4. マルタ | 1.1
5. シンガポール | 1.1
6. スペイン | 1.2
7. マカオ(中国) | 1.2
8. ウクライナ | 1.2
9. イタリア | 1.3
10. モルドバ | 1.3

11月
サレジオ
宣教の
祈りの意向

苦しむ子どもたち

ハイチの貧しく家のない子どもたち、孤児たちの苦しみが和らげられますように。

苦しんでいる子どもたちのために祈りましょう。特に、家のない子ども、孤児、戦争の被害を受けている子どもたちのために。子どもたちが教育の機会と家庭の愛情のある生活を保証されますように。

| 教皇フランシスコの祈りの意向 |

ハイチのために

